

# 「京都水族館(仮称)整備構想」へのご懸念(市民意見からの抜粋・要旨)

## に対する基本的な考え方

### 1. 環境

#### (1) 環境負荷

＜オリックス不動産㈱＞

ご意見	基本的な考え方
<p>①膨大なエネルギー(大量の水、電力、海水の運搬等)が使用され、大量のCO<sub>2</sub>が排出されるのではないか。</p>	<p>* 「水の使用量」については、海水補給量を減らす水処理設備を導入することで、従来水族館と比較して1/10程度(約30t/日)の海水補給量に抑えます。また、海水を必要とするろ過器洗浄についても、一度水槽で使用した海水を再利用することで、新しい水を必要としません。あわせて、これらの水処理システムにより排水量も低減します。(第二回検討委員会 説明資料参照)</p> <p>* 「電力」については、「環境共生型水族館」をテーマに掲げる当計画において「環境配慮」は重要なキーワードであり、弊社ではCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた様々な工夫に取り組む予定です。</p> <p>★ 今回計画する水族館全体のCO<sub>2</sub>排出量は、従来型水族館を内陸で設置する場合と比較して、「10%以上」は削減できるものと想定しています。</p>
	<p>* 施設計画においては、緑豊かな梅小路公園との一体化をすすめる中で、自然エネルギーを活用した施設づくりを目指します。特に、お客様に楽しんでいただく展示観覧ゾーンを中心に、施設の一部屋外化を図り、自然光や自然換気のエリアを確保することで、必要電力量の削減につなげます。</p> <p>★ 建物の空調や照明の電力削減量としては、従来水族館と比較して、20%程度を目標としています。</p>
	<p>* 「海水の運搬」については、人工海水を活用することで、港湾から長距離運搬輸送となる輸送海水は使用しない予定です。(第二回検討委員会 説明資料参照)</p> <p>★ 輸送海水を使用しないことで、従来型水族館の海水輸送量から想定して、CO<sub>2</sub>排出量=年間1500~2000t程度(建物全体のCO<sub>2</sub>排出量の1/3~1/4に相当)が削減できる見込みです。</p>
	<p>* その他、環境負荷対策への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓面積を抑え、建物の外壁の高断熱化を図り熱負荷抑制</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排熱利用等による外気負荷抑制</li> <li>・貯留した雨水を便所洗浄水などに再利用</li> <li>・リサイクル建材（内装材，再生骨材等）の積極利用 等</li> </ul>
<p>②周辺地域の取水や水質汚染は大丈夫か。取水は地下水ではないか。</p> <p>③排水の塩素濃度による下水道や下水処理場設備等への支障は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 給水については，地下水ではなく上水利用を想定しています。</li> <li>* 給水，排水については，事前相談において，既存の設備で対応可能とお聞きしておりますが，今後，上下水道局指導のもと，法令順守はもちろんのこと，万全を期してまいります。</li> </ul>
④漏水の場合の周辺地域への影響は。	* 災害などにおける水槽などからの漏水対策については，建物や水槽の耐久性等の確保は当然ですが，万一の場合にも，建物内で処理を図り，公園敷地外への影響を防げるよう検討をすすめていきたいと考えております。
⑤京都議定書が締結された都市，環境モデル候補都市として大規模水族館は相応しくないのではないか。	* これまで実現できなかった内陸都市において，海の自然に触れる機会の少ない京都の子供たちに，すばらしい海の自然や環境を体感してもらうことや，山紫水明の豊かな自然を活かし，山・川・海などの関係を表現していくこと，その取り組み自体が，環境モデル候補都市京都に相応しい水族館ではないかと思料しています。

(2) 緑・自然

ご意見	基本的な考え方
①水族館が建設されると，公園の緑が失われる。梅小路公園のゆったりした豊かな自然とふれあいの場・市民の憩いの場が損なわれないようにしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 水族館の建物は，当該敷地の中で公園として未利用地の部分である京神倉庫跡地を中心に整備していく予定であり，緑地部分を極力減らさないように努めます。公園内の既存樹木は減りません。</li> <li>* 完全にインドア型となる施設ではなく，屋外の展示観覧ゾーンや緑地，水盤などを多く確保し公園との一体化を図ります。これらスペースは景観面での圧迫感などを抑え，公園と建物の融合を図る重要な役割を担います。</li> </ul>
②居留する野鳥や昆虫などへの悪影響が懸念される。	* 梅小路公園は緑豊かな芝生広場等とともに，自然の生態系を復元した「いのちの森」があります。公園との一体化をテーマとする当計画としては，「いのちの森」や公園全体を運営する都市緑化協会との連携は重要と考えており，公園全体の魅力向上や機能維持に協力していく所存です。

## 2. 周辺への影響

### (1) 交通渋滞・交通安全

ご意見	基本的な考え方
	(京都市回答)

### (2) 交通アクセス

ご意見	基本的な考え方
	* 京都市が公共交通優先の歩いて楽しいまちづくりを進めていることは十分承知しております。オープン前の宣伝に際しては、京都駅からの徒歩や公共交通の利用を積極的に呼び掛け、マイカーによる来場を極力抑制します。

### (3) 地域活性化

ご意見	基本的な考え方
	(京都市回答)

### (4) その他（騒音、におい、ゴミ）

ご意見	基本的な考え方
①騒音（ポンプ音、放送音等）の程度は。	* 動物や特殊設備等から生ずる水族館特有の臭気や音について、特に周辺でお住まいの方々にご迷惑のならないよう、万全の対策を講じます。
②異臭はしないか。	
③住環境への悪化が心配。	* 法令に定められる規制値を遵守することはもとより、防音、防臭に対する最善の策を講じてまいります。
④ゴミがあふれるのではないか。	* 廃棄物の種類にあわせ、分別を徹底し、法令に遵守しながら、周辺地域の皆様にご迷惑のならぬよう、適正な廃棄物処理、処分を行っていきます。 * また、建設期間、運営期間問わず、リサイクル活動を積極的に推進し、お客様も含め水族館全体に対して、ゴミ発生抑制への心がけを徹底周知していきます。

## 3. 財政負担

ご意見	基本的な考え方
	(京都市回答)

#### 4. 事業性

ご意見	基本的な考え方				
①すぐ飽きられるのではないか（リピーターの確保が難しいのではないか）。	<p>* 新江ノ島水族館を含め、当方で検討している水族館は、観光施設として観光客を広い商圈範囲から獲得することよりも、まずは地域の皆様に愛され誇りに思っただけの施設を目指しております。</p> <p>* ついては、単に水槽を展示するというのではなく、「環境」や「いのち」の大切さを体感できる様々なサービスやソフトプログラム（体験学習プログラム等）に取り組むことによって、お客様が何度も訪れていただける施設づくりを目指しています。</p>				
②入場者数が過大ではないか。	<p>* 初年度約180万人を集客した新江ノ島水族館の実績から、商圈人口*を江ノ島の3倍程度抱える当該計画地において、優れた立地条件を勘案し、初年度200万人を達成できる可能性はあるものと考えております。</p> <p>※商圈人口：商圈を自動車運転時間距離＝1時間圏内に設定</p> <table border="1" data-bbox="587 1032 1366 1128"> <tr> <td data-bbox="587 1032 818 1081">新江ノ島水族館</td> <td data-bbox="818 1032 1366 1081">約350万人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1081 818 1128">当該水族館</td> <td data-bbox="818 1081 1366 1128">約1,000万人（当社調べ）</td> </tr> </table>	新江ノ島水族館	約350万人	当該水族館	約1,000万人（当社調べ）
新江ノ島水族館	約350万人				
当該水族館	約1,000万人（当社調べ）				

#### 5. 施設

ご意見	基本的な考え方
<p>①公園の眺望が悪くなる。</p> <p>②圧迫感があるのでは。</p> <p>③梅小路公園の自然環境と調和した建物に。</p>	<p>* 高さや日影に関する法令を遵守することはもとより、屋外の展示観覧ゾーンや緑地・親水空間などを多く確保し、これらのスペースにより圧迫感をおさえ、公園との一体化を図ります。</p> <p>* また、施設計画においては、以下のような内容を工夫し景観に配慮していきます。</p> <p>★ 計画施設（特に外構）において積極的に緑化を推進します。</p> <p>★ 高さ方向のボリューム感を抑えるため、建物全体を均一な高さとせず、各所毎に機能や諸室にあわせ必要な建物高さを設定します。</p> <p>★ 施設の分節化や半屋外化を図り、建物としての圧迫感を低減させます。（「城壁」のような見え方を回避します）</p>

<p>④学生の多い京都に立地する水族館として、学生の視点を取り入れて欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 既に、梅小路公園全体やいのちの森での実施されているプログラム等と連携を図りながら、参加型の体験学習プログラムを導入し、子供や学生達への環境学習の場を積極的に提供していきます。</li> <li>* 水族館運営においてボランティアの参加募集を積極的に図り、水族館の様々な仕事に携わることできる機会を創出していきます。</li> </ul>
--	---

## 6. 展示内容・プログラムなど

ご意見	基本的な考え方
(全体包括的に)	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 緑の豊富な梅小路公園の一角で、生き物や水とふれあいながら、自然や生命の大切さを体感できる施設、京都市にふさわしい「環境共生型水族館」を目指します。その上で、生き物の飼育展示やショーだけでなく、お客様にご満足いただける様々なサービスやソフトプログラムの提供に取り組みたいと考えています。</li> <li>* 展示する生き物の検討は今後本格的にすすめていきますが、生き物の種類や内容を問わず、なぜその生き物を展示するのかということはしっかりと説明できるようにしていきたいと考えております。</li> <li>* 今後具体的な検討をすすめてまいります。展示やプログラムについて、大きな方針としましては、ある特定種類の生き物を目玉にするのではなく、水族館の体験型活動を積極的に展開し、お客様と一緒に自然保護や環境配慮の大切さを考え、環境問題と向き合う機会を創出していきます。</li> <li>* 豊かな水をたたえる京都のシンボルとも言える鴨川、桂川等の淡水の生態系も展示に取り入れていきたいです。</li> </ul>

## 7. 立地（京都ないし梅小路公園）

ご意見	基本的な考え方
	(京都市回答)

## 8. その他の施設

ご意見	基本的な考え方
	(京都市回答)